

MHAM日本好配当株オープン

<愛称：配当生活>

追加型投信／国内／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「MHAM日本好配当株オープン」は、2018年1月23日に第45期の決算を行いました。当ファンドは、わが国の株式に投資を行い、高水準の配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2017年7月25日～2018年1月23日

第44期	決算日：2017年10月23日	
第45期	決算日：2018年1月23日	
第45期末 (2018年1月23日)	基準価額	10,127円
	純資産総額	776百万円
第44期～ 第45期	騰落率	21.5%
	分配金合計	1,500円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

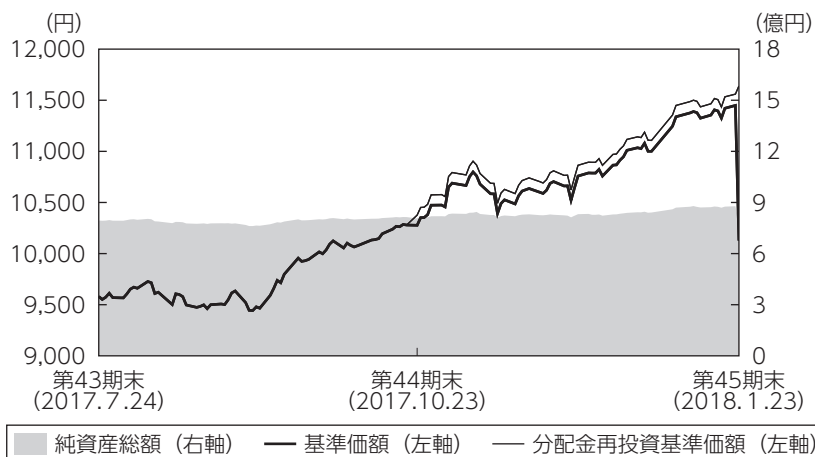
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第44期首： 9,580円
 第45期末： 10,127円
 (既払分配金1,500円)
 騰落率： 21.5%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

MHAM好配当利回り株マザーファンド受益証券を通じて国内の株式に投資を行いました。国内株式市場が堅調に推移したことを受けて、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

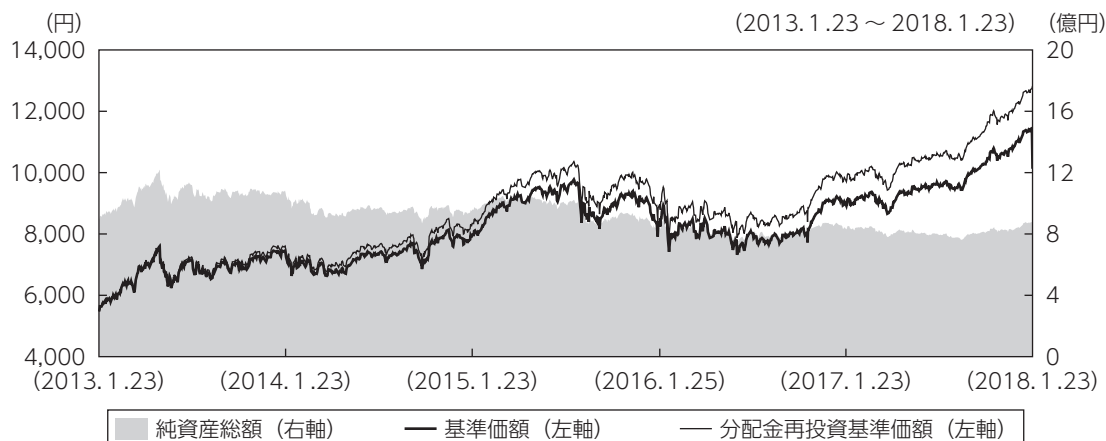
項目	第44期～第45期		項目の概要
	(2017年7月25日 ～2018年1月23日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	69円	0.677%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,241円です。
(投信会社)	(29)	(0.287)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(36)	(0.352)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.038)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.065	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(7)	(0.065)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(d) その他費用	0	0.001	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(－)	(－)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	76	0.743	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2013年1月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

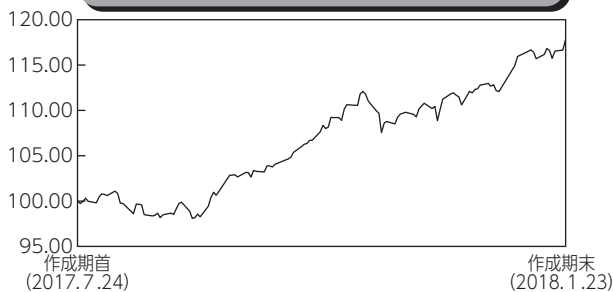
		2013年1月23日 期首	2014年1月23日 決算日	2015年1月23日 決算日	2016年1月25日 決算日	2017年1月23日 決算日	2018年1月23日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	5,474	7,365	7,973	8,419	8,953	10,127
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	150	170	170	175	1,610
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	37.5	10.9	7.6	8.6	31.6
参考指数の騰落率	(%)	—	45.0	9.0	△0.8	8.8	26.2
純資産総額	(百万円)	890	1,068	958	844	833	776

(注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は東証株価指数 (TOPIX) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

●国内株式市況

東証株価指数（TOPIX）の推移



(注) 作成期首の値を100として指数化しています。

国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）で見ると、17.9%上昇しました。

作成期首から9月上旬までは横ばい圏で推移しましたが、11月上旬にかけては、地政学リスクに対する警戒感の一服、衆議院選挙での与党圧勝や先行きの追加政策期待、国内企業の先行き業績に対する改善期待などを背景に、大幅に上昇しました。

その後、高値警戒感などから調整する場面もありましたが、米税制改革議論の進展や堅調な米株式市場などを好感し、12月下旬までは底堅く推移しました。

年明けの大発会では、米国や中国の良好な経済指標を受けて世界景気の先行きに明るい見方が広がったことなどから一段高となりました。その後も底堅く推移して作成期末を迎えました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

作成期を通じて、MHAM好配当利回り株マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持しました。

●MHAM好配当利回り株マザーファンド

前回の運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき、予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断した銘柄を中心に投資を行いました。

銘柄の選定にあたっては業績動向、財務内容の健全性、流動性などに留意した上で、今後高水準かつ安定的な配当を予想する銘柄を中心に選別しました。

当作成期中における個別銘柄の主な売買は、予想配当利回りや業績動向などから相対的な投資魅力度を判断し、「双日」、「日本航空」、「IDEC」などを購入した一方で、「兼松」、「キヤノン」、「日本軽金属ホールディングス」などを売却しました。

株式組入比率につきましては、高位を維持しました。

上記の運用を行った結果、基準価額は上昇しました。主な上昇要因として、国内企業の先行き業績に対する改善期待などが挙げられます。

【組入上位業種】

2018年1月23日現在

順位	業種	比率
1	情報・通信業	14.9%
2	卸売業	13.7%
3	電気機器	12.6%
4	輸送用機器	9.5%
5	銀行業	8.1%
6	サービス業	6.4%
7	建設業	5.0%
8	医薬品	4.8%
9	化学	4.2%
10	機械	3.3%

(注) 比率は、MHAM好配当利回り株マザーファンドの純資産総額に対する割合。

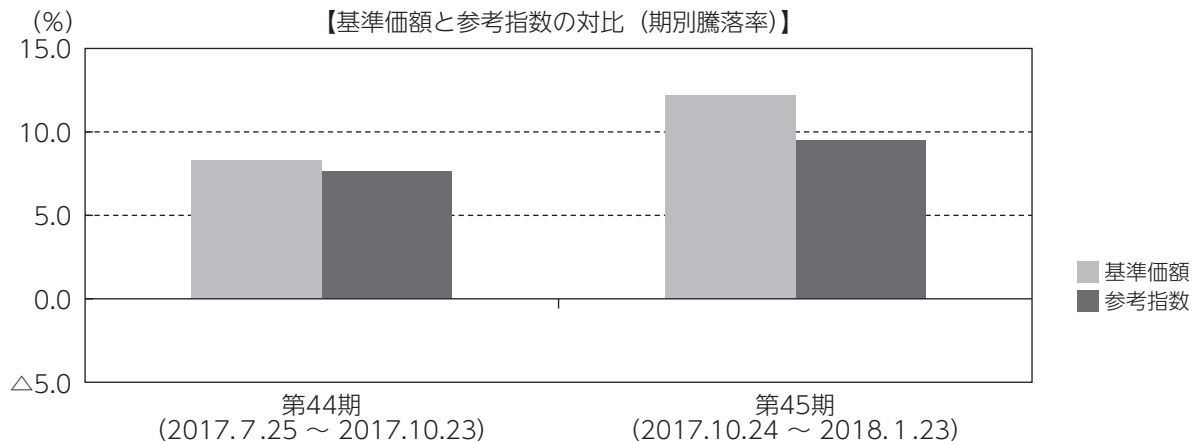
【組入上位銘柄】

2018年1月23日現在

順位	銘柄	比率
1	東京エレクトロン	4.6%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	4.2%
3	トレンドマイクロ	3.3%
4	トヨタ自動車	3.2%
5	ローム	3.1%
6	日本電信電話	3.0%
7	三菱商事	2.9%
8	三井住友フィナンシャルグループ	2.7%
9	テクノプロ・ホールディングス	2.6%
10	第一三共	2.5%

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第44期	第45期
	2017年7月25日 ～2017年10月23日	2017年10月24日 ～2018年1月23日
当期分配金（税引前）	100円	1,400円
対基準価額比率	0.964%	12.145%
当期の収益	100円	1,216円
当期の収益以外	-円	183円
翌期繰越分配対象額	1,632円	1,450円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針に従い、MHAM好配当利回り株マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持します。

●MHAM好配当利回り株マザーファンド

国内株式市場は、底堅い展開を想定します。プラス要因として、世界景気の回復基調、国内外の政策期待、国内企業のROE（自己資本利益率）に対する意識の高まりや株主還元拡充への期待などが挙げられます。一方でマイナス要因として、米国の議会運営に対する不透明感、米国や欧州の金融引締め政策に対する警戒、地政学リスクなどには留意が必要と考えます。

今後の運用方針につきましては、予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断する銘柄群から、高水準かつ安定的な配当を予想し、円滑な売買取引が可能であると見込む銘柄を中心に選別します。組入銘柄の入替えに関しては、個別企業のファンダメンタルズ分析により投資魅力が高いと判断する銘柄を購入する一方で、予想配当利回りが低下した銘柄、減配リスクがある銘柄などを売却します。

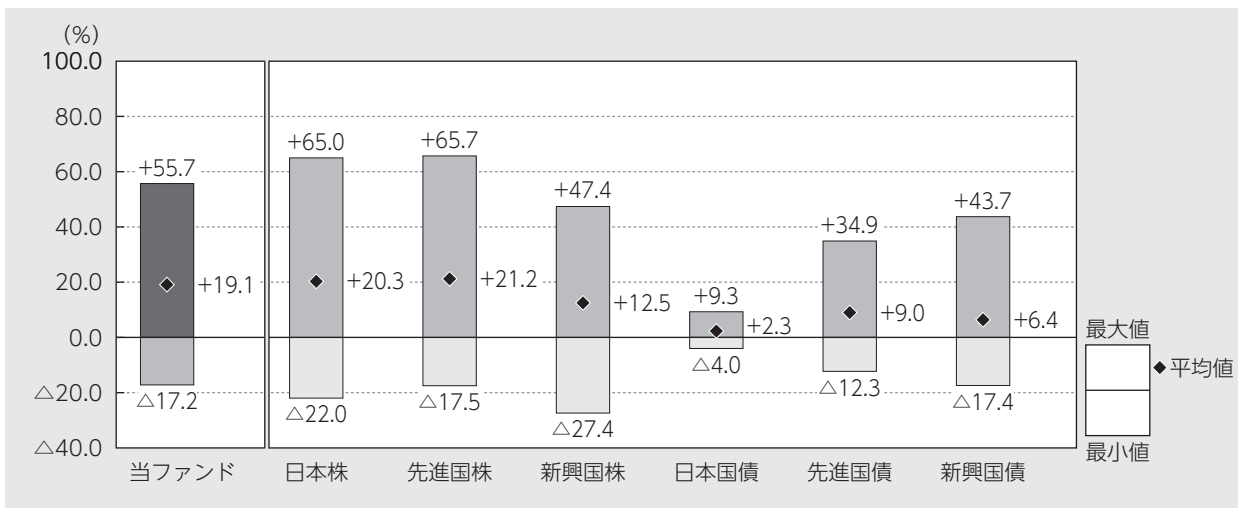
株式の組入比率は高位を維持します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2006年10月6日から無期限です。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	わが国の株式に投資を行い、高水準の配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	MHAM日本好配当株 オープン	MHAM好配当利回り株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MHAM好配当利回り株 マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	わが国の株式の中から、予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断される銘柄を中心に投資を行います。 銘柄の選択にあたっては、高水準かつ安定的な配当が予想される銘柄を厳選し投資します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持します。	
分配方針	毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、分配対象額について積極的に分配を行う基本方針のもと、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビエーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2013年1月～2017年12月

(注1) 上記のグラフは2013年1月から2017年12月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2018年1月23日現在）

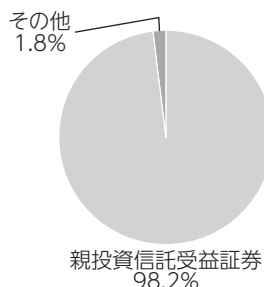
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	第45期末
	2018年1月23日
MHAM好配当利回り株マザーファンド	98.2%

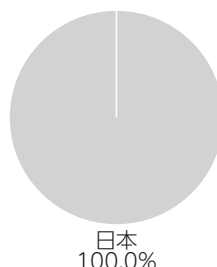
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

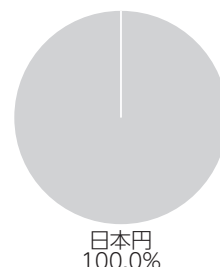
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

純資産等

項目	第44期末	第45期末
	2017年10月23日	2018年1月23日
純資産総額	806,157,226円	776,773,415円
受益権総口数	784,516,994口	766,994,958口
1万口当たり基準価額	10,276円	10,127円

(注) 当作成期間（第44期～第45期）における追加設定元本額は53,912,368円、同解約元本額は115,726,537円です。

組入ファンドの概要

【MHAM好配当利回り株マザーファンド】（計算期間 2016年12月13日～2017年12月11日）

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

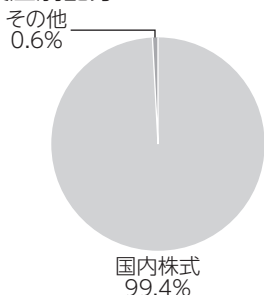
項目	(2016年12月13日～2017年12月11日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	35,947	—
(a) 売買委託手数料 (株式)	46 (46)	0.129 (0.129)
合計	46	0.129

◆組入上位銘柄

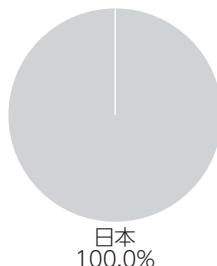
(組入銘柄数：76銘柄)

順位	銘柄	業種	比率
1	東京エレクトロ	電気機器	4.5%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.2%
3	トレンドマイクロ	情報・通信業	3.7%
4	日本電信電話	情報・通信業	3.6%
5	ローム	電気機器	3.1%
6	キャノン	電気機器	3.0%
7	トヨタ自動車	輸送用機器	2.5%
8	テクノプロ・ホールディングス	サービス業	2.5%
9	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.4%
10	三菱商事	卸売業	2.3%

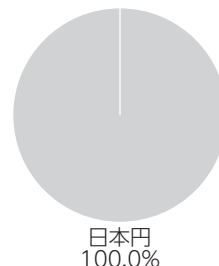
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものであります。費用の項目の概要については2頁をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜当ファンドの参考指数について＞

●東証株価指数（TOPIX）

「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

※参考指数は配当を除いた指数です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「シティ世界国債インデックス（除く日本）」は、シティグループ・インデックスLLCが開発した債券指数で、日本を除く世界主要国の国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。